

# 「こうかん・くうこう」だより kouzushima 神津島

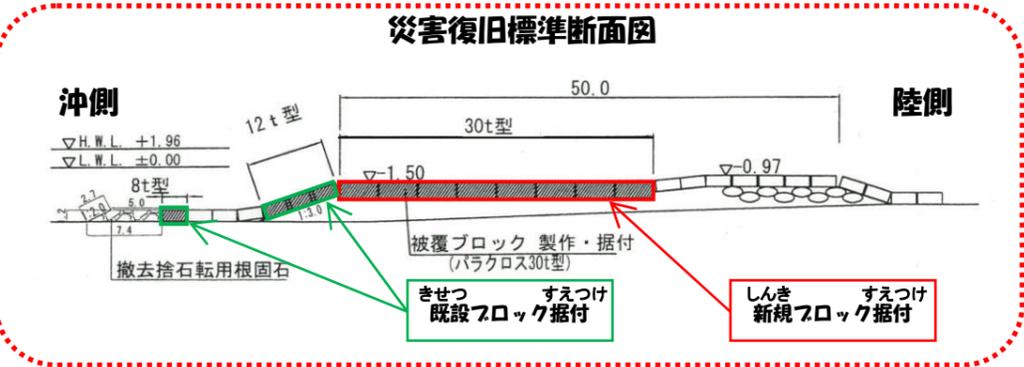
発行：平成21年9月

## 神津島港海岸災害復旧工事完了

神津島港海岸では、5月下旬から離岸堤(潜堤)の災害復旧工事を行いました。台風や低気圧により潜堤が被害を受け、海面上にブロックが露出していましたが、この度の工事でブロックを据え直したり、新しく大きなブロックに替えたりしました。工事中は、観光客や地元の皆様方にご迷惑をおかけいたしました。おかげさまで無事完了させることができました。

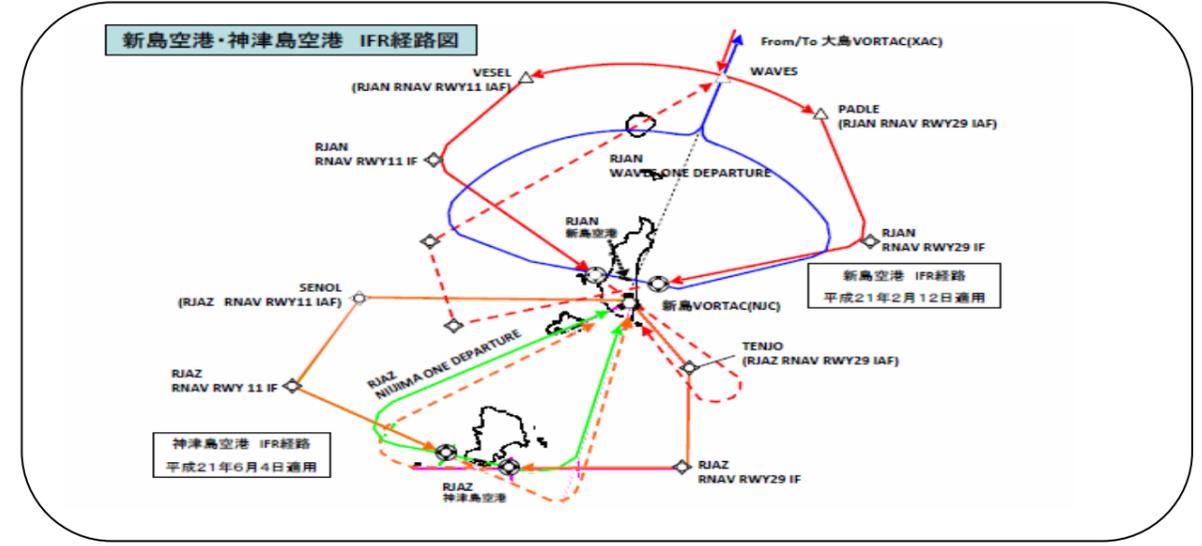


**【潜堤設置の目的】**  
 潜堤(パラクロス)を設置した箇所は、水深が浅くなります。波は、水深が浅くなると砕けて威力が弱まります。この効果により海岸浸食(砂の流出)を防ぐ役割を果たしています。



# 神津島空港の運用について

- ① 平成21年6月4日から計器飛行が導入されました。今後、気象条件(注)に影響されやすい、不安定な就航率の向上が期待できます。  
 計器飛行方式(IFR)：100kg程度の機器の装備と、ライセンスが必要で、航空機の計器(無線標識の方向などが表示される機器や、高度計など)と管制機関からの指示などによって飛行するので、仮に外が見えなかったとしても飛行できます。  
 有視界飛行方式(VFR)：パイロットが自分の目で外を見て、航空機の進路や高度を定める飛行。天候が有視界気象状態の時のみ許可されます。



- ② 平成21年7月30日から重量制限が緩和(換算単車輪荷重 2.6t未満から2.9t未満に変更)されました。空港を利用する航空機には重量規制があります。これは、滑走路舗装厚に応じて重量制限をし、滑走路の損傷(凹み)を防ぐためです。  
 (神津島空港では平成20年度に滑走路の舗装を24cmから28cmに嵩上げしました。)  
 参考⇒ドルニエ機 5,400kg(総重量)×0.45(主脚が単車輪の換算係数)=2.61t  
 ドルニエは、乗客定員を1名減らすことで、重量超過を回避していましたが、今後は、満席で運航することができます。

**注⇒神津島空港の特性**  
 標高138.4mで島しょ空港では最も高い位置にあり、海蝕断崖が滑走路両端と南側、北側は標高300m級の高処山、秩父山があります。  
 山から吹き下ろす下降気流と断崖からの上昇気流で滑走路上の風向変化が激しく、梅雨の季節は、海霧や海面からの水蒸気が霧を発生し、視界不良の状態を招きやすくなります。

港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

- ◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所 電話：04992-8-1311 FAX：8-1313
- ◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当 電話：04992-8-0311 FAX：8-0313